

第14回

北海道釧路市・釧路川流域

「小さな自然再生」現地研修会

～釧路川支川の魚類生息環境を再生する～

開催日

令和3年

11月28日

日

【開催趣旨】 釧路川流域では、農業生産効率向上を目的とした排水事業により、1990年代まで流路の直線化や落差工が設置され、魚類の産卵環境減少や遡上障害が生じています。そこで、流域住民や関係行政機関が協働し、釧路川支川の魚類の遡上・生息環境の再生に向けた手づくり魚道設置等の取組みが、釧路湿原自然再生事業の一環として実施されています。

本研修会では、手づくり魚道や産卵環境づくりなどの小さな自然再生の実践現場から、魚類の遡上・生息環境の再生技術や手づくり施工のノウハウを参加者で学び合います。

※本活動は、河川管理者より許可を得て実施します。また、資源保護のため支川名称等の場所の詳細は明示しておりません。

開催日時	令和3年11月28日(日) 9:30~16:30
会場	釧路市立博物館 講堂 <〒085-0822 釧路市春湖台1-7>
対象	小さな自然再生に関心のある方々
定員	会場 & 現場 : 50名 ※右記参照 ※午前の座学研修のみ、収録・編集後に、後日改めてオンデマンド配信いたします。
参加費	無料
持ち物	胴長靴(ウェーダー)、作業用手袋、防寒着、昼食
プログラム	※プログラム及び講演タイトルは一部変更の可能性もあります。 ※主催者側で行事保険に加入いたします。

本行事は、新型コロナウイルス感染防止の観点より、当日の会場及び現場の参加者は、講師及び現地関係者に限定させていただきます。但し、午前の座学研修のみ、収録・編集後にオンデマンド配信することとします。



オンデマンド配信プログラムは、土木学会CPD認定プログラムを予定しています。※開催後に案内します

(9:30~12:00) 釧路川支川や道東の魚類生息環境再生の取組を学ぶ座学研修(釧路自然保護協会 創立50周年記念講演)

- 開会挨拶 (神田房行: 釧路自然保護協会 会長)
- これからの自然再生の目指すべき姿 (中村太士: 北海道大学大学院農学研究院 教授/釧路湿原自然再生協議会 会長)
- 小さな自然再生大きな役割 (三橋弘宗: 兵庫県立大学自然・環境科学研究所/兵庫県立人と自然の博物館)
- シマフクロウ保護と河川環境の関わり (竹中健: シマフクロウ環境研究会)
- 道東におけるシマフクロウ等希少鳥類の生息環境整備の取り組み (北橋隆史: 環境省釧路自然環境事務所)
- 美幌町で取り組む様々な魚道づくり (町田善康: 美幌博物館)
- 知床で鮭が自力で川をのぼれる環境を復活させたい! (森高志: 斜里町水産林務課)
- 午後の釧路川支川自然再生事業の概要紹介 (野本和宏: 釧路市立博物館)
- 現地研修内容説明と工法説明 (岩瀬晴夫: 株式会社北海道技術コンサルタント)

(12:00 ~ 14:00) 昼食、釧路川上流域の支川へ移動

(14:00 ~ 16:30) 自然再生事業地の魚道等見学・現地研修

- 魚道工法、工夫した点など解説 (岩瀬晴夫: 株式会社北海道技術コンサルタント)

(16:30) 閉会 ※現地にて解散



河川
基金



北海道の希少動物と自然環境を守る。
ほく-基金

本活動は、公益財団法人河川財団による河川基金、ほく-基金北海道生物多様性保全助成制度、及び北海道、北海道ココロラボリング(株)、公益財団法人北海道環境財団の三者による協働事業「北海道e-水プロジェクト」の助成を受けています。

主催: 釧路自然保護協会、日本河川・流域再生ネットワーク、「小さな自然再生」研究会

協力: 釧路市、釧路湿原自然再生協議会 河川環境再生小委員会

【お問合せ】 日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局 E-mail: info@a-rr.net (担当: 和田・白尾)